

教育改革実践家 藤原 和博氏 提出資料

20世紀

「正解」がある

成長社会

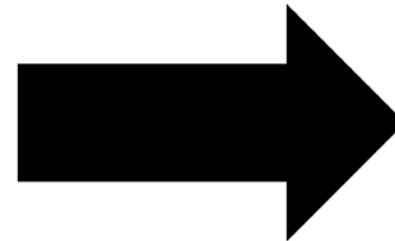
みんな一緒

正解主義

情報**処理力** → 「正解」

ジグジーパズル 型（学力）

- ・読み書きソロバンの基礎学力
- ・頭の回転の良さ
- ・パターン認識（短絡的思考）
- ・営業マンが勧めたから保険に入る
- ・消費者として生きる



21世紀

「正解」がない

成熟社会

それぞれ一人一人

つなげる力

修正主義

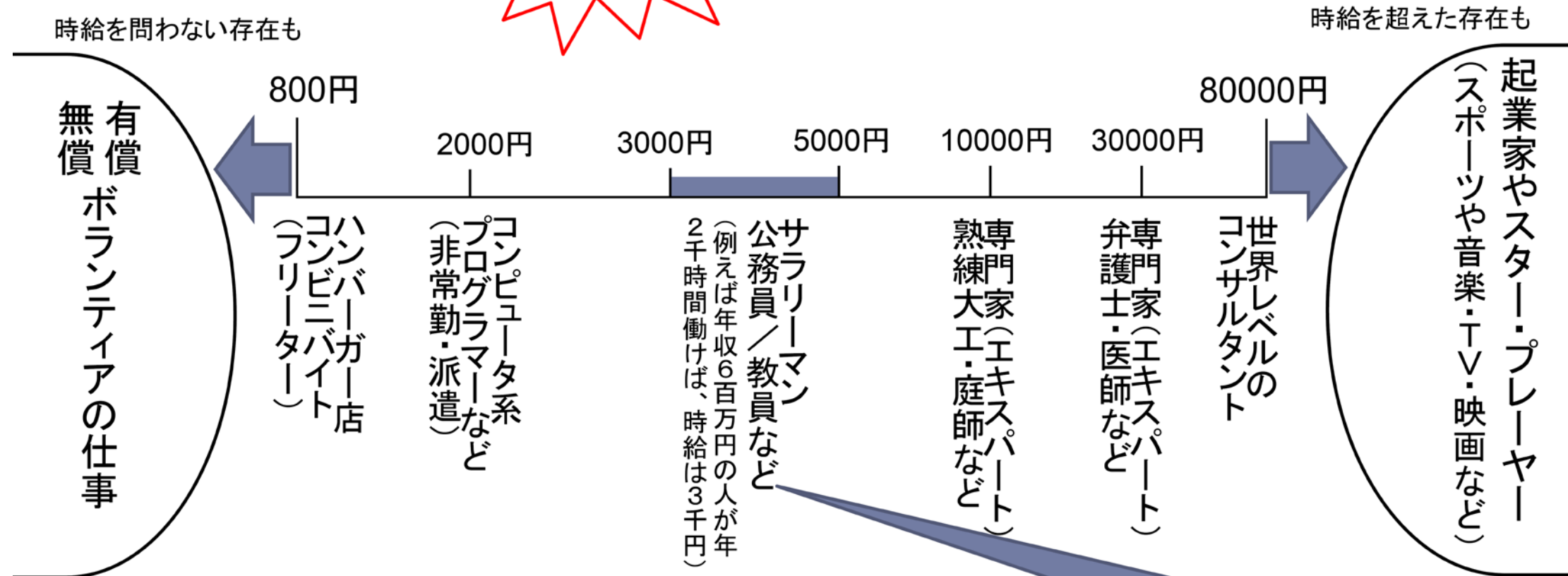
情報**編集力** → 「納得解」

レゴ 型（学力）

- ・知識を実社会で応用するためのリテラシー
- ・頭の柔らかさ
- ・違う見方もあるかもしれない（複眼思考）
- ・自分のリスク等を比較して保険に入る
- ・編集者として生きる（人生は一冊の本）

日本人の「時給」 (年収÷年間総労働時間)

なんと、**100倍**の差 (1時間あたりに生み出す付加価値の差)



▽なぜ、100倍の差が生まれるか？

▽どうしたら、もっと稼ぎ(1時間あたり)を上げられるか？

▽左から右に自分の付加価値を高める **鍵** は何か？

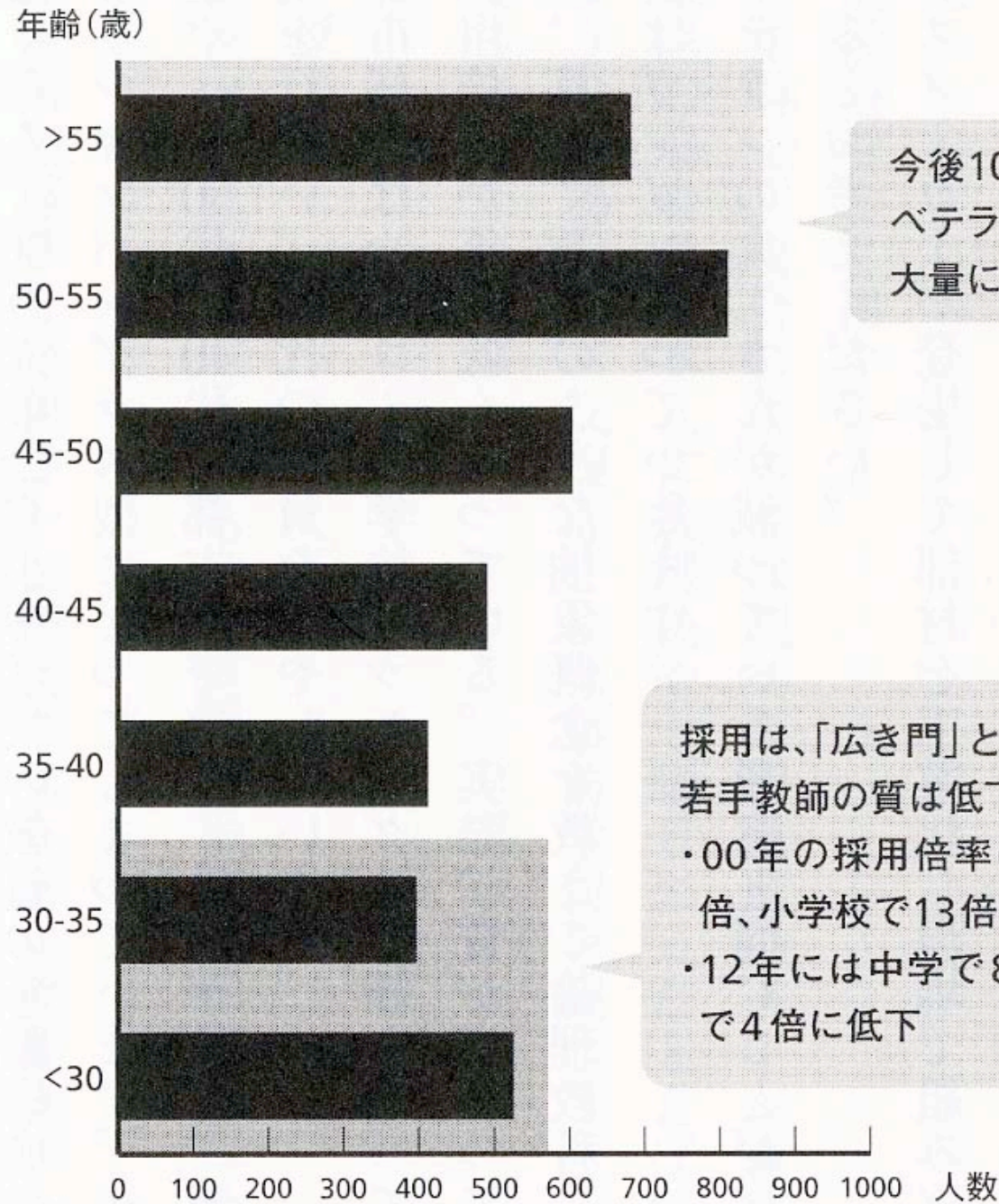
× 「たいへんさ」 「年齢」
「熟練度」 「がんばり」
「努力」 「技術」

?

年間総労働時間のめやす

- たとえば、1日8時間仕事する人が週5日で年間50週働けば2000時間、ゆる～く働いて年間1600時間
- 管理職やハードワーカーは2400～3000時間働く人も
- 自営業で朝から晩まで働けば1日12時間×365日で4000時間超も

ベテラン教師の今後10年での大量退職と、採用倍率低下による教員の質低下の恐れ



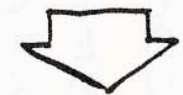
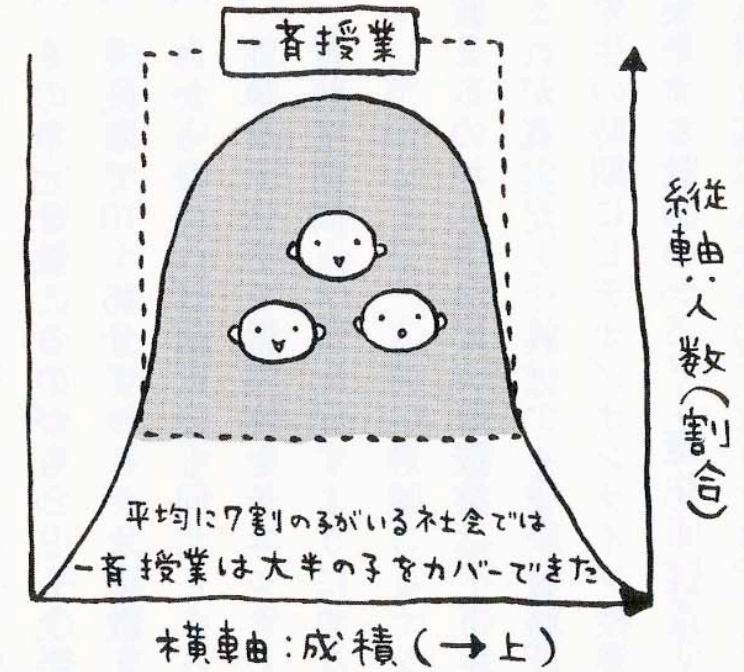
今後10年でベテラン教師が大量に退職

採用は、「広き門」となっており、若手教師の質は低下
 ・00年の採用倍率は中学で18倍、小学校で13倍
 ・12年には中学で8倍、小学校で4倍に低下

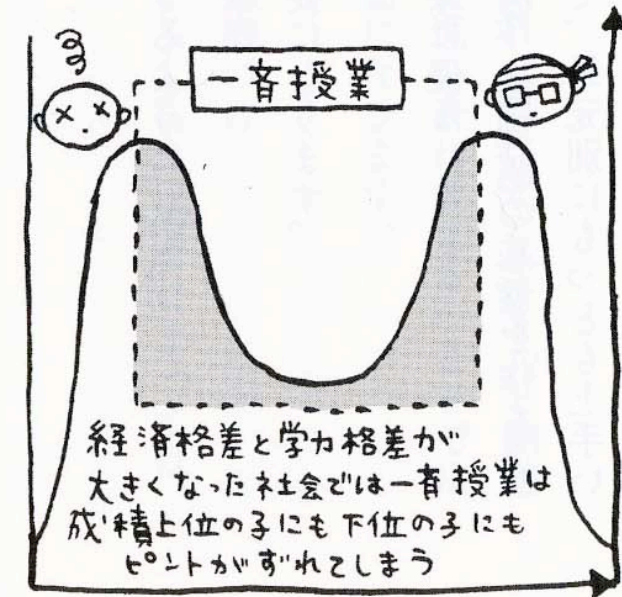
出典:文科省「教員年齢統計」

① ストライクゾーンの変化 ②

<1997年までの「みんな一緒」の成長社会>



<1998年からの「それぞれ一人一人」の成熟社会>



奈良市が奈教大、企業と連携

個人スマホ活用学習

らで
か高
春条
来一

奈良市は31日、市立
一条高校で生徒個人の
スマートフォンを活用
した学習を来年4月か
ら実施すると発表し
た。市と奈良教育大学

(長友恒人学長)、リ
クルートマーケティング
グパトナーズ(東京
都、山口文洋社長)の
連携事業。同日、文部
科学省で仲川元庸市長



学習にスマホを活用する取り組みを説明す
る仲川市長=31日、東京都千代田区の文部
科学省

らが会見し、「産学官
連携によるこれからの
社会に求められる人
材を育成する奈良市
の挑戦」に意欲を見せ
た。

も役立てるとい
う。県内の高校生のスマ
ートフォン保有率は94
・9%。ほとんどの高
校は校内での使用を禁
止しているが、生徒に
身近なツールを使い、
学習効率のアップを狙
う。また、いじめ調査
などへの活用も検討す
るほか、教員の負担軽
減も目指す。

スマートフォンを保有しない
生徒には学校がタブレット端末を貸し出す。
学習に個人スマホを積極活用するのは全国でも珍しい試みという。

この日の会見には仲川市長のほか長友学

一条高校長に藤原氏

奈良市初
民間起用

斬新な取り組み期待



藤原 和博氏

奈良市は13日、来年
4月から市立一条高校
の校長に、元リクルー
ト社員で東京・杉並区
立和田中学校の校長経
験を持つ、藤原和博氏
(59)を起用すると発
表した。同氏は平成26
年度に市の教育振興戦

略懇談会メンバー、今
年4月からは市の政策
アドバイザーも務める
など、市との関係が強
めていた。校長任期は
30年3月末までの2年
間。

月、東京大学経済学部
卒。同年4月にリクル
ートセンター(現リク
ルートホールディング
ス)入社。平成15年4
月から和田中学校で民
間校長を務め、学校支
援地域本部事業や「よ
のなか科」など斬新な
取り組みを進めた。

県内の公立学校での
民間校長の登用は藤原
氏で3人目、奈良市中
は初。